



<8月セミナー>



情報銀行の仕組みと課題

インターネットを介して蓄積された個人情報、本人の知らない間にどのように利用されているのか、多くの消費者は不安に思っています。そもそも個人のデータは、本人の関与の下で活用すべきとの考えから、情報銀行の仕組みができたとされています。他方で情報銀行は、個人情報の利活用のための道具にすぎないという意見もあります。私たちは、情報銀行を信用し、そこに個人情報を預けていいのでしょうか。

(一社)日本IT団体連盟による情報銀行認定が2018年12月よりスタートしました。複数の事業者が認定を受けていますが、3月には中部電力が地域型情報銀行として実施する、愛知県豊田市で市内小売店や施設などにデータを提供し、ユーザーが預けたデータに基づいた情報やクーポンなどが受け取れる仕組みが認定を受けています。

情報銀行の仕組みについて学び、消費者にとってのメリットや今後の課題について、意見交換を行います。是非ご参加ください。

**参加費
無料です**

【日時】 8月18日(火) 15時00分~17時00分

〔Zoomを活用したオンライン学習会〕

【講師】 森 亮二さん(弁護士)

【定員】 100人 ※事前申し込みが必要です。定員になり次第締め切ります。

【最終締め切り】 8月13日(木)

【申し込みメールアドレス】 yukiko.ooide@shodanren.gr.jp (大出)

参加ご希望の方は、上記メール宛先に「団体名、お名前、メールアドレス、電話番号」を記入の上、必ず事前にお申込みください。

※Zoom会議の詳細は、学習会前までに申し込みの方にご連絡いたします。

〔参加用URL〕は登録された方限りとさせていただきます他の方への転送はできません。いただいた個人情報はこの学習会のみ利用させていただきます。

【スケジュール案】

15:00 開会

15:05 情報銀行の仕組みと課題について(1時間25分)

16:30 質疑応答・意見交換(30分)

17:00 閉会

